

	新潟市教育委員会 平成21年 8月 定例会会議録			
日 時	平成21年 8月28日(金) 午後2時00分			
場 所	市役所 白山浦庁舎 2号棟 4階 白2-403会議室			
出席委員 (6名)	佐藤 委員長		欠席委員	
	高山 委員			
	田中 委員			
	小嶋 委員			
	山田 委員			
	鈴木 教育長			
会議に出席 した職員 (18名)	職・氏名		職・氏名	
	教育次長	市橋 浩	教職員課長	逢坂 健太郎
	教育次長	長谷川裕一	総合教育 センター所長	津野 敏江
	教育次長 中央図書館長	八木 秀夫	学校支援課長	南 敦
	事務局参事	大科 俊夫	地域と学校ふれあ い推進課長	坂井 敏明
	教育総務課長	川瀬 正之	生涯学習センタ ー次長	和田 明彦
	学務課長	朝妻 厚雄	中央図書館 企画管理課長	上山 茂実
	施設課長	芋川 常治		
	保健給食課長 補佐	田中 薫	教育総務課 長補佐	佐藤 栄治
	生涯学習課長 補佐	吉沢 俊子	教育総務課 総務企画係長	小関 洋
		教育総務課主査	杉本 浩	
その他の 出席者 (名)				

開会	時 刻	午後 2時00分
	宣 言 者	委員長
選挙	議案番号	件 名
付議事件 (4件)	議案番号	件 名
	議案第13号	平成21年9月議会定例会の議案について (1) 平成21年度新潟市一般会計補正予算について
	議案第14号	教育委員会の事務の管理及び執行状況に関する点検・評価の議会報告について
	議案第15号	市立小学校の校長の人事について
	議案第16号	職員の人事措置について
報告 (6件)	記 号	件 名
		教育ビジョン後期実施計画の策定について
		新潟市立学校適正配置審議会の審議状況について
		新潟市奨学生等の選考結果について
		学校等施設のアスベスト再調査結果について
		不登校児童生徒について「平成21年度学校基本調査速報」
		全国学力・学習状況結果速報について
その他 (件)	記 号	件 名

第1 開会宣言

○委員長 午後2時00分開会を宣言する。

第2 会議録署名委員の指名

○委員長 高山委員，田中委員 両委員を指名。
本日の取材は，新潟日報社ということで，よろしいでしょうか。

第3 付議事件

○委員長 付議事件，議案第13号平成21年9月議会定例会の議案について（1）平成21年度新潟市一般会計補正予算についてお願いいたします。

○学務課長 資料を基に説明

○委員長 ただいまの説明について，ご意見，ご質問を頂戴いたします。

○山田委員 電子黒板とはどのようなもので，何台入るのですか。

○学務課長 タッチパネルのように使用し，映像をうつし出すとともに直接書き込みも出来ます。計35台です。

○山田委員 市内で電子黒板の入っている学校はありますか。

○学務課長 電子黒板は1台70万円くらいでしょうか。市内のほとんどの学校に1台ずつ入っています。

○委員長 どういう学校を対象として，モデル校を選んだのですか。ITのスキルのある人がいる学校とかでしょうか。

○学務課長 そういう部分もあります。

○田中委員 今現在の活用状況はいかがですか。

○学務課長 学校によってまちまちです。動画を含め，視覚的効果があり，授業でも活用されているようです。教材活用という点で，多忙化解消の一助になるのではないかと，成果を期待しているところでは。

○小嶋委員 現在研修中ということでしょうかね。

○山田委員 今回の調査は，全国で相当数，行われるのですか。

○学務課長 全国で130校です。

○高山委員 IT活用の研修も行われますか。

○学務課長 研修については，現在も総合教育センターで行っています。

○高山委員 映像を使った授業は効果的ですが，次のような話しも聞いたことがあります。あるクラスで，飴を使った足し算の勉強をしていた時に，袋の中の飴の数はいくつでしょう，というような問題があったそうです。ところが，その映像を見た児童が，

- 委員長
- 学務課長
- 委員長

袋と飴の大きさを見て、「先生、その袋には、飴は入りません」と答えたそうです。授業には、工夫が必要だと思います。

この電子黒板は、いつごろ導入予定ですか。

年度内の予定です。

導入されたら、いずれ、教育委員としての見学もお願いしたいと思います。

他に、よろしゅうございますか。それでは、平成21年度新潟市一般会計補正予算に関して、ご承認いただきたいと思ます。

つづきまして、議案第14号、教育委員会の事務の管理及び執行状況に関する点検・評価の議会報告について、教育総務課長ご説明よろしくお願ひします。

- 教育総務課長
- 委員長
- 山田委員

資料を基に説明

ただいまの説明について、ご意見、ご質問を頂戴いたします。

今年度は、5ページの下のように二重線の枠なども使っており、見やすく良くなったと思います。去年は事実の記載のみでしたが、今年はコメントもあり、議会に提出するのにもよいと思ひました。

ただ、指標の付け方が少しおかしいのかなと思ひました。ビジョンを作った時に、三年間の計画にしたわけですが、その間に進みすぎると評価が下がるというのは、おかしいですし、頑張っている人に気の毒という気がします

- 高山委員

こちらは、議会に報告し、一般にも説明することとなると思ひますが、評価は今年が初めてですか。

- 教育総務課長
- 高山委員

昨年からです。

一年間の活動報告ですが、評価はビジョンの施策のみとなっていますが、全体の評価はいいのですか。

- 教育総務課長

先日の教育委員会の連合会で、文部科学省の職員の話では、小さな教育委員会と大きな教育委員会があり、点検・評価については、小さな教育委員会が中心となっていましたし、他市の点検・評価も拝見しましたが、内容的には、新潟市のもののほうが、網羅されているものもあるくらいです。

- 高山委員

この法律改正の目的は、いわゆる教育委員会の形骸化に警鐘を鳴らすということだと思います。この1年間、どんな活動をしてたんだということだと思います。全体として、何を一番やったか、ということを出せばいいのであり、羅列する必要はないと思ひます。点検・評価につきましては、この1年何をしてきたのかを特に議論になった部分を取り上げてもう少しコンパクトにまとめたほうが良いと思ひます。

- 教育総務課長

昨年度の報告書は、構成が逆になっていました。小さな教育委員会の部分である、教育委員会会議を先に持ってきました。

○高山委員

教育ビジョンの施策評価といいますのは、先回おこなわれたビジョンの推進委員会におはかりしたものとなります。

私は逆に、委員からの意見を明記したほうが良いと思います。また、事務の管理とありますので、教育委員会の事務についても、記載したほうが良いのではないのでしょうか。

○鈴木教育長

その事務といいますのは、あくまでも法律用語ですので、教育行政事務の管理及び執行状況の点検・評価を行うということは、教育行政の事務でありますので、教育委員の活動状況と、ビジョンの施行評価の2本柱で、点検・評価とする形となるかどうかと思います。

○高山委員

事務ではなくて、教育委員会の活動とすべきではないですか。

○山田委員

点検・評価の方法というのは、文科省の指導があるのですか。

○長谷川教育次長

方法は、地方にまかされています。

○山田委員

教育委員会の活動状況につきましては、表があり、所見がありと分かりやすいと思います。そういう意味では、ビジョン評価につきましても同じことが言えるのではないのでしょうか。少し文章を加えることが大切だと思います。

また、高志中等教育学校の進捗が3なのはなぜですか。あれだけ頑張ったと思うのですが。

○高山委員

確かに、高志中等教育学校は入学1期生も出ましたし、実績も残していると思います。こういうものが大きく出なければならぬと思います。

○委員長

数値については、算定根拠が不統一となっていて、矛盾が生じてしまうんですね。この指標で行くと高志中等教育学校の評価は、3にしかありません。指標については、メンテナンスが必要であり、数値だけ見ても本質が見えない場合があります。

○教育総務課長

進捗3といいますのは、指標どおり達成したものの数値ですので、高志中等教育学校は3とならざるを得ないのかなと思います。毎年、点検・評価の中で、おっしゃるような矛盾が出てきてしまうところはあると思います。ただし、毎年、指標を変えるわけにもいかないと思います。

○山田委員

これは、いつ議会報告するのですか。私たちは、昨年、12月にしたように記憶しているのですが。また、資料につきまして、我々の意見が反映されていないのはいかがだと思います。

○教育総務課長

昨年度は、9月に委員会で説明し、12月に正式な議会報告となっております。今年度も9月の議会報告を予定しています。

○山田委員

それでは、この報告書について、この教育委員会定例会での我々の意見が反映されないということとなるんですか。手順としてどうなのでしょう。

○教育総務課長

今後は中間報告を行って行きたいと考えております。

○長谷川教育次長	ビジョンの施策評価の数値を変更するのは難しいが、教育委員の方々の、今回の定例会の意見を総括的にまとめて報告書に追加する形はいかがでしょうか。
○高山委員	次長が、今おっしゃいましたが、総括表のような形で、意見をまとめていただきたいと思います。中等教育学校や、教員採用、地域教育コーディネーターなどについて、まとめて加えていただければいいと思います。
○委員長	p 15 のボランティアの記載につきましても、一般のボランティア登録について言及していかなければならないと思います。いずれにしろ、本日は、どこまで承認すればよいのですか。このまま、この議案の承認を諮ることはできませんが。
○鈴木教育長	報告書の内容を、大枠として承認していただき、後日、修正した書面を各委員にお送りするということがいかがでしょうか。
○委員長	<p>それでは、本日は、ここまでとし、条件付きで大枠として承認ということよろしいでしょうか。</p> <p>事務局には、今後、このようなことがないようにしてください。</p> <p>議案15・16号は人事案件により、非公開とし協議会終了後に非公開案件として再開し、審議いたします。</p> <p>以上で、議案を終了とし、報告案件に移ります。まず、教育ビジョン後期実施計画の策定について、教育総務課長よろしくをお願いします。</p>
第4 報告	
○教育総務課長	資料を基に説明
○田中委員	p 22 の資料1-2の体系図で、変更というものがありますが、どのように変更するのでしょうか。
○教育総務課長	「名称変更」と「変更」という記載がありますが、基本的に名称のみの変更となります。
○高山委員	新潟水俣病の理解促進という事業が新規であります。なぜいま、出てきたのでしょうか。
○学校支援課長	新潟水俣病は、新潟市にとって重要な課題と捉えていますので、今回、新たな事業として新設しました。新採用教員を対象として研修を実施したり、保健所などと連携してDVDを学校園に配布したりする予定です。
○高山委員	理科大好きプロジェクトという新設の事業がありますが、理科の教員などの採用や研修については現在どのように行っていますか。
○総合教育センター	理科の研修につきましては、総合教育センターで行っており

所長	ます。
○教職員課長	今年度の中学校の理科教員の採用選考の出願者は11名です。出願者を増やすことは難しいと思われませんが、特に小学校教員については、教育センターでの研修を通して、力量を高めていきたいと考えています。
○山田委員	新潟県は、理科先進県でした。合併前は、各地区に理科教材センターがあり、そこに専門的な教員を配置していた。研修も大事だが、そういった人材の手配も大事である。研修の為の施設の維持にも努めてほしいと思います。
○高山委員	理科教育を充実していくためには、理科を教えられる先生を確保することが先決である。理科の先生をいかに増やすかを考えるべきである。資源のない国、日本に何が力となるかと考えたら、このあたりを頑張らないといけないと思います。
○田中委員	p25にある、青少年育成団体の活動支援が完了とありますが、何を持って完了としたのですか。
○生涯学習課長補佐	今、手元に資料がございませんので、後ほどお答えいたします。
○委員長	それでは、新潟市立学校適正配置審議会の審議状況について、学務課長、報告よろしくをお願いします。
○学務課長	資料につきましては、本日机上配布させていただいておりますのでよろしくをお願いします。資料を基に説明
○委員長	それでは、新潟市奨学生等の選考結果について、学務課長、報告よろしくをお願いします。
○学務課長	資料を基に説明
○高山委員	学力の基準に満たなかった方は、この1年間勉強すれば、どうにかなるのでしょうか。
○学務課長	大学は、理数系が弱ければ、成績が大幅に下がることもありますので、いかがでしょうか。
○高山委員	経済的などところで、要件に満たしていなかった方はいらっしゃいましたか。
○学務課長	いらっしゃいませんでした。
○山田委員	社会人奨学金の周知方法はどのようにしていますか。
○学務課長	ホームページ等で周知しています。
○委員長	それでは、学校等施設のアスベスト再調査結果について施設課長、報告よろしくをお願いします。
○施設課長	資料を基に説明。
○高山委員	南万代小学校は、昭和40年に建設された学校であるが、改築の予定はありますか。
○施設課長	改築する年度は、はっきりと申し上げられませんが、築40年以上の建物のため、近々に改築となる見込みです。
○高山委員	他の学校は、どのくらいの時期に建設されたものが多いので

	すか。
○施設課長	昭和50年前後に建設されたものが多いです。
○山田委員	新津第二小学校は、音楽室にアスベストがあったが、防音などのためにあったのですか。
○施設課長	吸音などの音響用に施工されていました。
○委員長	それでは、不登校児童生徒の状況について「平成21年度学校基本調査速報」学校支援課長、報告よろしくをお願いします。
○学校支援課長	まず、事前に配布した資料につきまして、不登校児童生徒数について、記載がありませんでしたので、そちらを追加したものを本日、机上配布させていただきました。差替えをよろしくをお願いします。資料を基に説明。
○高山委員	学年別比較、原因については分析していますか。
○学校支援課長	速報が出たばかりですので、原因についての分析は未だです。
○田中委員	不登校は30日以上欠席を伺いましたが、その後ちゃんと出席はしているのでしょうか。就学援助との関係はいかがでしょうか。
○学校支援課長	よくつかんではいません。
○学務課長	就学援助の実績は増えています。
○小嶋委員	地域性はあるのでしょうかね。
○学校支援課長	学校で多い、少ないはあります。
○小嶋委員	南区は何か原因があるのでしょうかね。
○学校支援課長	去年は、東区が高かったです。南区につきましては、分母が少ないので、パーセントにすると目立つことも一つの原因になるのかなと考えております。
○山田委員	不登校の問題は、ここ10年位前から増えてきた問題だと思います。十分検討していただきたい。
○小嶋委員	小学校の中学年から、不登校は始まって、ひきこもりなどになってしまうケースもあるので、十分に注意してもらいたいと思います。
○委員長	それでは、全国学力・学習状況結果速報について学校支援課長、報告よろしくをお願いします
○学校支援課長	資料を基に説明
○高山委員	秋田が2年連続で1位でしたが、新潟県は何位くらいでした。
○学校支援課長	新潟県は20番位でした。
○委員長	先ほどの、青少年育成団体の活動支援が完了の理由について、生涯学習課をお願いします。
○生涯学習課長補佐	前期実施計画策定時は、地域で子どもの安全を守る活動への重点的な取組を推進した時期であったため、青少年育成協議会などの団体に、研修会の実施や情報提供など団体活動推進のための支援を実施してきました。現在は、団体の通常活動の一

環として、子どもの安全を守る活動が定着してきており、当事業は、構成事業として適さなくなった為、完了としました。

○委員長

ほかにございますでしょうか。

それでは、以上、報告事項を終了させていただきます。

第5 次回日程

次回の日程について、説明を求める。

○委員長

9月定例会は、9月16日（水）午後1時半から、10月定例会は、10月9日（金）午前9時半からでお願いします。

○教育総務課長

全員異議なく了承する。

○全委員

第6 閉会宣言

午後4時30分、閉会を宣言する。

○委員長

（議案第15号 市立小学校の校長の人事について及び、議案第16号 職員の人事措置について審議し、可決する。）

（非公開部分）

以上、会議のてん末 を承認し、署名する。

署名委員

署名委員